

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援

8月1日号への掲載の申込みは、6月28日(金)までに、
広報広聴課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

| 広報みしま | 締切日 |
|------------|-----------|
| 9月1日号 | 7月24日(水) |
| 10月1日号 | 8月23日(金) |
| 11月1日号 | 9月27日(金) |
| 12月1日号 | 10月25日(金) |
| 2020年1月1日号 | 11月15日(金) |

文化

煎茶を美味しく飲みましょう 親子煎茶教室（文化庁事業）

☎7月13日～12月14日（月2回：土曜日）※全10回
場生涯学習センター5階和室
煎茶の美味しい入れ方、お菓子の食べ方など、簡単な作法を通して伝統文化を体験します
費2,000円（全10回）
小学生～高校生（男女）と保護者※子どものみ可
☎秋場 ☎981・1662、加藤 ☎976・6800

三島グロリア合唱団 団員募集

☎毎週木曜日午後7時～9時
場市民文化会館リハーサル室ほか
八尋和美先生の指導により宗教曲、日本の歌曲を練習。
月1回のボイストレーニングあり
高校生以上
費学生：月2,000円、一般：月4,000円
☎土山 ☎972・2291

スポーツ・健康

三島吹き矢同好会会員募集！

年齢を問わず楽しめます。見学・体験参加も随時受け付けています
☎月3回：土曜日午後1時～4時
場市民体育館2階多目的室
吹き矢の練習、月例会
費月500円
☎渡辺 ☎971・4733、大嶋 ☎988・4840

その他

婚活料理教室&スイーツブッフェ 三島で踏み出せその一歩！！

☎6月23日(日)午前11時～午後2時
場三島（北田町）
小川正道シェフに毎日の料理をおいしくするコツを教えてください
いただきます。毎回好評いただき、オシャレな料理とアットホームな婚活会です。
※詳細はサムオレで検索
☎30～49歳
費女性3,500円、男性4,500円
☎男女各10人
☎サムシング オレンジ三島・函南 ☎090・6099・2537

三嶋大祭り山車シャギリ大会 大人シャギリ参加募集説明会

☎7月4日(日)午後7時
場本町タワー4階
費1団体5,000円
☎山車シャギリ実行委員会・渡辺 ☎090・5034・6204

ダンス無料講習会

☎7月9日～9月（毎週火曜日※曜日の変更あり）午後8時～9時
場相田産業ビル5階（南田町）
☎ワルツ、タンゴなど
☎初級～中級程度
☎☎稲毛 ☎962・7330

しゃぎり演奏参加者募集

☎8月9日(金)までの毎週金曜日（追加練習日あり）午後7時～8時30分
場北小学校2階音楽室
☎三嶋大祭り（8月15日(日)～17日(出)）に向けてしゃぎりの練習※参加者は随時募集しています
☎無料
☎なし
☎☎Let's enjoy しゃぎり事務局・本間 ☎090・3158・4023、☎☎FAX 976・9687

コスモス話し方教室

人前で話すのが苦手な人はぜひ

☎毎月第2、第4木曜日午後7時～9時
場生涯学習センター
費教材費1,000円、会費3,000円（8回分）
☎☎伊倉 ☎☎☎FAX 975・2970

年金受給者協会囲碁クラブ 会員募集（入会随時）

☎毎週水曜日午後1時～5時※年末年始、お盆、祝祭日など除く
場南地区コミュニティ防災センター2階和室
☎約2カ月単位でリーグ戦を繰り返す。年1回親睦昼食会および大会を行う
☎年約2,000円※リーグ戦代
☎年金受給者協会三島支部
☎員☎4人程度※現在22人在籍
☎☎齊藤 ☎977・5934

男性料理教室

「豚ちゃん、豚とんクラブ」会員募集
男同士で楽しく料理し、食べ、語りませんか
☎▶豚ちゃん：第1・3金曜日午前9時～正午
▶豚とんクラブ：第2・4金曜日午前9時～正午
場生涯学習センター5階料理講習室
費月2,000円（材料費など）
☎☎山本 ☎988・8370

第23回静岡県理学療法士学会公開講座 みんなで楽しめる障がい者スポーツ講座

☎6月15日(出)午後1時30分～4時30分
場ブラサヴェルデ1階ホールA
☎パラリンピックで活躍されている選手による障がい者スポーツの紹介。体験ブース
☎無料
☎☎どなたでも
☎☎200人
☎☎(公社)静岡県理学療法士会 ☎054・275・2985

「市民活動団体応援コーナー」は広報広聴課窓口に来庁しなくても、電子メール・FAXで申し込みできます。2017年1月1日号から申込用紙が変更になりましたので、市ホームページで「市民活動団体応援」と検索し、ダウンロードしてください。

歴史の小箱

No.373

地域の歴史 徳倉

梅雨入りの二ニュースが気になる季節になりました。今回は徳倉にスポットをあて、水にまつわるお話を紹介します。

楽寿園内の郷土資料館では収蔵品展「バック・トゥ・ザ・ミシママチ！」を開催中です（9月1日(日)まで）。

郷土資料館 ☎ 971・8228

江戸時代には徳倉村として一村を成し、安倍・秋山・飯田・永井という四つの旗本の家が分割支配していました。明治二十二年（一八八九）に周辺の幸原・佐野・壺町田・沢地と合併して「北上村」になります。

箱根山の西麓、大場川の上流左岸に位置する徳倉は、すでに中世成立の古文書にその名を見ることが出来ます。「土倉」という字が用いられることもあったため、昔この地に土製の倉があつて「土倉」と名付けられ、のちに「土」字が同訓で字面のよい「徳」字に変えられて「徳倉」と記されるようになったのではないかと推測されています。が、はつきりとしたことはわかりません。

北上村は昭和十年（一九三五）に「三島町」と合併し、三島町が昭和十六年に「三島市」となって現在に至っています。

さて、徳倉小学校を北に少し進んだ高台に鎮座する八乙女神社は、徳倉村を護っていた氏神社の一つです。「八乙女」とは神楽などに奉仕する少女のことをいい、この社の祭神は天の岩戸前の舞の披露で知られる天鈿女命とされています。

この神社の後方西側に、かつて「オミイケ（御水池）」または「神の池」と呼ばれた湧水池があり、湧口からは綺麗な水が滾々と湧き出ていました。大人たちは池の水を竹筒に汲んで仕事へ向かい、子供たちはもぐったり、ハヤビン（川漁の道具）でハヤをとるなどして遊んだようです。昭和となって以降徐々に水量が減り、昭和四十年を過ぎた頃に枯渇してしまつたとい



▲ハヤビン

現在は住宅街となつている徳倉の地ですが、一昔前には水田が広がっていました。そのため宮川に流れ込む「オミイケ」の水は、付近一帯の水田を潤す灌漑用水の水源としても重要な役割を果たしていました。この「オミイケ」の南側にも「丸池」と呼ばれる湧水池があり（大正の耕地整理時に埋め立てて水田となる）、同じく用水の水源の一つとなっていました。そしてこの二つの池を見守る地点には、「宮川社」という水神様を祀る社が鎮座していたそうです。

この宮川社は明治時代初め頃、社殿の老朽化にもなつて八乙女神社境内に移されたといひ、八乙女神社では、毎年七月十一日に水神様（宮川社）を含む末社九座の合併社祭が執り行われています。



▲八乙女神社境内
末社を合祀する2棟の社

ぼくの
おじいちゃんおばあちゃん

当番 やまぐち こうさん

おじいちゃん、とても物知りです。機械の事、車の事、いろいろなことを知っています。
ぼくは野球をやっていますが、ユニフォーム、ぼうしなど、全てあらつてくれるので、いつもきれいなユニフォームで野球が出来ます。
おばあちゃん、いつも買い物に行ってくれたり、ご飯を作ってくれます。おばあちゃんのカレーはとてもおいしいです。
二人とも野球をうえんしにきてくれるので、うれしいです。これからも元気に長生きしてほしいです。

